

Let's Read Aloud & Learn English!

音読で始める基礎英語

By

Teruhiko Kadoyama

&

Simon Capper

S SEIBIDO

は し が き

本書は、「音読」や「筆写」といった、一見地味ですが確実に英語力アップにつながる練習法を取り入れた総合英語テキストです。基礎的な語彙や文法の確認に重点を置いていますが、オフィスを舞台にしたストーリー仕立てになっていますので、これまでの英語学習ではあまり触れる機会のなかったビジネス英語の基礎も学ぶことができるはずです。よく言われるように、実際ビジネスの現場で使われる英語は決して難しい表現や構文ばかりではありませんから、まず本書で基本的な文法と語彙をしっかり身につけることが大切です。

「英語をペラペラ話せるようになりたい」と願う人は多いですが、授業や自宅での学習で実際にどれだけ英語を音読する練習をしてきたでしょうか？ 何度も音読しなければやはり英語が口からすぐに出てくるようにはなりませんし、実際に英文を書いてみるという作業は表現を確認し定着させる上で非常に効果的です。デジタル全盛な時代にあえてこうしたアナログ的な練習方法を提唱するのは、やはり一番効果が実感しやすい方法だと思うからです。

しかし、本書はアナログ的な面だけを重視したテキストでは決してありません。本書は Web 英語学習システムの LINGUAPORTA（リンガポルタ）に対応していますので、PC や携帯電話を使ったモバイル・ラーニングが可能です。アナログとデジタルのそれぞれ良い点を皆さんの英語学習に活かしてほしいと願っています。

本書は 15 ユニットからなり、各ユニットの構成は次のようになっています。

■ **WARM-UP** : 授業で聞く対話の中に出てくる重要単語や表現、そして文法項目を取り上げていますので、あらかじめ確認しておくとう聞き取りが易しく感じられるはずです。ここは授業の予習としてやっておきましょう。

■ **LET'S LISTEN!** : オフィスを舞台にした対話を聞いてみましょう。対話の大意が理解できているかを試す問題が用意されています。

■ **LET'S CHECK & READ ALOUD!** : 空欄補充問題を設けていますので、LET'S LISTEN! で聞いた対話をもう一度聞いて空欄を埋めてみましょう。対話の意味を確認したら、音読、そしてパートナーとロールプレイ（役割練習）をしてみましょう。オーバーラッピングやシャドーイングなど、様々な練習方法を紹介していますので、是非自宅学習でも積極的に取り入れるとその効果が実感できるでしょう。

■ **GRAMMAR** : WARM-UP で取り上げた文法項目の確認問題です。文法に苦手意識のある方はこのページでしっかり復習をしておきましょう。

■ **LET'S READ!** : 主人公タカシとその友人マークとの電子メールのやりとりを読んでみましょう。実際に自分が英語でメールを書くときに参考になる表現がいろいろ出てくるはずです。

■ **CHALLENGE YOURSELF!** : 英語の資格試験としてよく知られている TOEIC® と似た形式のリスニング問題を用意しました。試験を意識した実践的な演習をしてみましょう。

■ **LET'S READ ALOUD AND WRITE!** : 最後に授業のまとめとして、学習した対話を音読筆写してみましょう。日本語訳だけを見ながら英文がスラスラと書けるようになることが目標です。

本書の刊行にあたっては、成美堂の佐野英一郎氏、そして編集部の工藤隆志氏に多大なご尽力を賜りました。衷心よりお礼申し上げます。

角山 照彦
Simon Capper

TABLE OF CONTENTS

01	Pleased to meet you. — 出迎え 6 〈be 動詞〉 出迎える／人を紹介する
02	Do you remember me? — ケイトとの出会い 12 〈一般動詞（現在）〉 仕事を尋ねる／説明する
03	I spoke to Ms. Hayashi yesterday. — 苦情対応 18 〈一般動詞（過去）〉 謝罪する／意向を尋ねる
04	When does the meeting start? — 会議の準備 24 〈疑問詞〉 場所や時間を尋ねる
05	Can you meet me at the airport? — 出張打ち合わせ 30 〈助動詞 1〉 依頼する 1
06	Feel free to ask me anytime. — 使用法説明 36 〈文の種類〉〈命令文〉 使い方を説明する
07	I'm thinking about quitting my job. — 仕事の悩み 42 〈進行形〉 相談する／励ます
08	I'll give her your message. — 電話応対 48 〈未来形〉 聞き返す／確認する 1

主な登場人物

Takashi



サンライズ・コーポレーションの東京支店にて
営業を担当している。

大学時代にサンフランシスコへ短期留学した
ことがあり、そこでマークと知り合う。

Marc



タカシの友人で
現在はロサンゼルスに住んでいる。

09	I haven't received the latest figures. — 会議の準備 54 〈現在完了形〉 指示する／確認する 2
10	The cafeteria is closed today. — オフィス案内 60 〈受動態〉 場所を説明する／感謝する
11	We expect higher sales in China. — 会議 66 〈比較〉 比較する／詳細を尋ねる
12	I'd like to check in. — チェックイン 72 〈助動詞 2〉 依頼する 2／希望を述べる
13	How about going to the theater? — ケイトとの再会 78 〈動名詞〉 人を誘う／頻度を尋ねる
14	I like to travel a lot. — スモールトーク 84 〈to 不定詞〉 経験・予定を尋ねる
15	What are your plans for the future? — 将来の夢 90 〈接続詞〉 計画・理由を尋ねる
巻末資料	品詞の分類／文の要素と基本文型／人称代名詞の種類と格変化表／不規則動詞変化表 96
	リンガポルタのご紹介 99

Janet



タカシの同僚で、
マークとは古くからの友人。

Julia



サンライズ・コーポレーション
東京支店の営業課長で、
タカシの上司。

Kate



サンライズ・コーポレーションの
ニューヨーク支店にて
マーケティングを担当している。

UNIT 01

Pleased to meet you.

タカシは同僚のヒトミと一緒に空港で顧客のブラウンさんを出迎えます。

会話では人を紹介する表現を学びます。また、文法では **be** 動詞に焦点を当てて学習します。

文法 ● be 動詞



WARM-UP 授業前に確認しておこう！

Vocabulary Preview

1 ～ 10 の表現の意味として適切なものを a ～ j のの中から選びましょう。



02

- | | | |
|------------------|-------|----------------|
| 1. flight | _____ | a. ～することができる |
| 2. be pleased to | _____ | b. ～の担当で |
| 3. be able to | _____ | c. 空の旅、飛行 |
| 4. meet | _____ | d. ～して嬉しい |
| 5. colleague | _____ | e. ～に違いない |
| 6. introduce | _____ | f. ～を出迎える |
| 7. department | _____ | g. 同僚 |
| 8. in charge of | _____ | h. ～もまた |
| 9. too | _____ | i. (会社などの) 部、課 |
| 10. must | _____ | j. ～を紹介する |

ビートに乗って 1 ～ 10 の表現を発音してみましょう。

Grammar Point ●●● be 動詞

I am an engineer.

(私はエンジニアです)

The president is in the meeting room now.

(社長は今会議室にいます)

There are a lot of people in this office.

(このオフィスには多くの人がいます)

be 動詞とは名詞や形容詞、場所を表す語句が後に続いて「～である、～にいる」という意味を表すもので、主語によっていろいろと形が変わります。また、「～だった、～にいた」と過去を表す場合も同じく変化します。下の表でしっかり確認しましょう。

話し手のことを**1人称**、相手方を**2人称**、それ以外の人たちを**3人称**と言います。

	主	語	現在形	過去形
1 人称	単数 (私)	I	am	was
	複数 (私たち)	we	are	were
2 人称	単数 (あなた)	you	are	were
	複数 (あなたたち)			
3 人称	単数 (彼、彼女、それ)	he, she, it	is	was
	複数 (彼ら、それら)	they	are	were

「～ではない」という否定文にするときは、be 動詞のすぐ後に not をつけます。また、「～ですか？」という疑問文にするには be 動詞を文の始めに持ってきます。下の例文の日本語訳を完成させながら確認しましょう。

The head office is not in Tokyo. It's in New York.

(_____)

ニューヨークにあります)

Mr. Tanaka isn't at his desk right now.

(_____)

Were you surprised at the news? (_____)

他にも、「～がある」「～がいる」のように、ものや人が存在することを示す場合には《**There + be 動詞+人やもの**》の形が使われます。否定文や疑問文の作り方は同じですので、下の例文の日本語訳を完成させながら確認しましょう。

There were a lot of people at the party last night.

(_____)

There isn't much time. Let's hurry. (_____) 。急ぎましょう)

Are there any good restaurants around here?

(このあたりに _____)

is not=isn't,
are not=aren't の
ように会話では短縮
形が使われることも
あります。ただし、
I am not は通常 I'm
not を使います。
× I amn't

LET'S LISTEN! 会話の大意を聞き取ろう!

タカシとヒトミ、そしてブラウンさんの会話を聞いて、質問に対する答えとして最も適切なものを A～Cの中から1つ選びましょう。

CD 03
Self-Study

Q uestion 1 What are they talking about?

- A. Ms. Brown's family.
- B. Ms. Brown's job.
- C. Ms. Brown's flight.

Q uestion 2 Does Ms. Brown know Hitomi?

- A. Yes, they are close friends.
- B. Yes, they were on the same plane.
- C. No, they're meeting for the first time.

Q uestion 3 What is Ms. Brown's first name?

- A. Kathy.
- B. Betsy.
- C. Sally.

LET'S CHECK & READ ALOUD! 音読してみよう!



03

1. スクリプトを見ながら会話をもう一度聞き、下線部に当てはまる表現を書き入れましょう。(下線部には単語が2つ入ります)
2. 内容を確認して、全文を音読してみましょう。
3. Takashi と Ms. Brown の役割をパートナーと一緒に演じてみましょう。
(Hitomi の役割は Takashi が兼ねるとよいでしょう)

Takashi ... Hello. You must be Ms. Brown. I'm Takashi Kudo. Pleased to meet you.

Ms. Brown ... Oh, pleased to meet you, too. Thank you ① _____
to meet me.

Takashi ... You're welcome. How was ② _____?

Ms. Brown ... Oh, ③ _____ long, but fine.
I was able to get ④ _____ on the plane.

Takashi ... That's nice. Well, let me introduce ⑤ _____ to you.
This is Hitomi Takahashi.

Ms. Brown ... Nice to meet you, Ms. Takahashi.

Hitomi ... Nice to meet you, too, Ms. Brown.

Ms. Brown ... Oh, just ⑥ _____ Kathy.

Takashi ... She's also in the ⑦ _____.
She's ⑧ _____ of the Kanto area.

◇ I D Y O U K N O W ?

従来未婚の女性には Miss、既婚の女性には Mrs. が使われていましたが、近年は未婚、既婚に関わらず Ms. Okada のように Ms. (ミズ) が使われるようになっていきます。これは、男性の場合はずっと Mr. を使うのに対して、女性のみ結婚しているかどうかで呼び名を変えるのはおかしいという意見を反映したものです。

A. 例にならい、カッコ内に適切な be 動詞を書き入れましょう。

例：The president (is) in his office now.

1. I () born and brought up in Tokyo.
2. () you ready? Let's go.
3. John and I () really busy all day yesterday.
4. There () a problem with my computer now.

B. 例にならい、カッコ内の指示に従って 1～4 の英文を否定文か疑問文に書き換えましょう。

例：Jeff is my colleague. (否定文に)

Jeff isn't my colleague.

1. I'm very tired now. (否定文に)

2. My flight was very long. (否定文に)

3. Ms. Brown is in Kansai Airport now. (疑問文に)

4. There were a lot of new projects. (疑問文に)

C. 日本語の意味に合うようにカッコ内の語句を並び替え、英文を完成させましょう。ただし、文の始めにくる単語も小文字にしてあります。

1. ヒトミと私は営業部所属です。

Hitomi and (sales department / the / are / I / in) .

2. この辺にフランス料理店はありますか。

(there / are / French / restaurants / any) around here?

3. 飛行機の中では全然寝られなかった。

I (to / was / able / get / not) any sleep on the plane.

4. あなたは関東地域の担当ですか。

(in / are / charge / you / of) the Kanto area?

LET'S READ

タカシとロサンゼルスに住むアメリカ人の友人マークとの電子メールでのやりとりを読んで1～3の質問に答えましょう。

Hi Marc,

How are you? It was great to hear from you. I'm doing really well, thanks. My colleagues in the sales department are very friendly. I hope it continues!

My boss is also very friendly. When I introduced myself (I said "I'm pleased to meet you sir, I've heard so much about you," just like you taught me!), he welcomed me and just said "Please, call me Bill"! It's a little strange, but I'm slowly getting used to it.

More later, I have to go to a project meeting.

All the best.

Takashi

1. Which statement is true?
 - a. Marc was replying to Takashi's message.
 - b. Takashi is replying to Marc's message.
 - c. Takashi is sending a business letter to Marc.
2. Takashi was surprised by his boss's _____.
 - a. informality
 - b. project
 - c. colleague
3. According to the text, in the past, _____.
 - a. Marc received advice from Takashi
 - b. Takashi received advice from Marc
 - c. Takashi received advice from his boss

WORDS & PHRASES

hear from... : ~便りがある

just like... : ちょうど~のように

more later : 詳しくは後で

which statement : どの文

continue : 続く

get used to... : ~に慣れる

All the best. : (手紙の最後で) それではまた

according to... : ~によれば

CHALLENGE YOURSELF!

リスニングテストで自分の力を試してみましょう。

Part I Photographs

A～Cの英文を聞いて写真の描写として最も適切なものを選びましょう。



04

1.



A B C

2.



A B C

Part II Question-Response

最初に聞こえてくる英文に対する応答として最も適切なものをA～Cの中から選びましょう。



05

3. A B C

4. A B C

Part III Short Conversation

会話を聞き、下の英文が会話の内容と合っていればT (True)、間違っていればF (False) を○で囲みましょう。



06

5. Ms. Collins is the marketing manager.

T F

6. The woman is in Japan for the first time.

T F

LET'S READ ALOUD & WRITE! 音読筆写で覚えよう!

授業のまとめとして、今日学習した対話を3回書き写してしっかり覚えましょう。一度英文を声に出して読んでから書き写すと頭に残りやすくなります。

今日の一言

There is no royal road to learning. (学問に王道なし)

